科目名	卒業研究				
担当教員名	神保　雅人				
学部等	サービス創造学部	開講学期	2026年度春学期		
ナンバリング		学年	4年	単位	4単位

副題	卒業研究
科目情報補足	
事前に履修することが望ましい科目	研究4A

この科目を通じて身につける能力要素	
全学共通の能力要素	＜2019年度～2024年度入学者＞専門的な知識・技能【◎】、普遍的な知識・技能【○】、相互理解・コミュニケーション力【○】、チャレンジ精神・実践力【○】、主体性・責任感【○】、社会規範意識・誠実さ【○】
学部固有の能力要素	
能力要素と授業内容の関係	卒業論文の作成を通じて、より高度な専門知識を習得し、分析力及び考察力の向上を図る。
能力要素の詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html（2024年度以前入学者のCUC6つの能力要素は、「全学共通の能力要素」に記載します）

科目概要

研究4Bで各自が定めたテーマに基づく調査、研究、実践活動等の成果のまとめを担当教員所定の卒業制作（論文、調査書、企画書、報告書等）として完成させることを通じて、専門的な知識を有機的に結び付けて体系化し、論理性を向上させる。

この科目の学修目標

研究4Bの成果のまとめに基づいて、卒業制作を完成させる。

授業の特徴（指定科目のみ掲載）

上記の科目概要及び科目の到達目標に加え、本教員においては以下の内容を付記する。
　卒業研究では、研究4Aの内容に沿って卒業論文を作成し、進捗状況に対するアドバイス、文章の校正指導を通じて、論文の作成作業とはどの様なものかを学ぶ。

履修上の注意

この科目では、ノート型PCを利用する。

「卒業研究」は「研究4B」と一体のものとして扱い、「研究4B」への出席が必須とされるので留意すること。
　また、卒業論文の校正指導に応じて，毎回修正原稿を提出すること。

実務経験を活かす授業		実務経験内容等	
PC必携	○	使用するソフトウェア等	

データを活用する授業

データ分析を行う		外部機関（企業等）のデータ活用する		その他	

アクティブ・ラーニングの要素

グループワーク		プレゼンテーション	○	実習、実技、フィールドワーク	○
PBL（課題解決型学習）		双方向型学修（クリッカー等）		ディスカッション・ディベート	
反転授業		その他	資料集めや論文の構成、文章の執筆等を学生が主体的に進める。		

授業計画

授業回	各回の概要	各回の事前事後学修	事前事後学修時間
【第1回】論文の書き方(1)　テーマ設定 【第2回】論文の書き方(2)　章立ての仕方 【第3回】論文の書き方(3)　参考文献の扱い方 【第4回】論文の書き方(4)　要旨、『はじめに』及び『おわりに』の章の書き方 【第5回】論文の作成(1)　テーマ設定に関する概要の作成 【第6回】論文の作成(2)　章立て案の作成			

【第7回】論文の作成(3)　原稿の執筆及び参考文献との関連付け(1)
【第8回】論文の作成(4)　原稿の執筆及び参考文献との関連付け(2)
【第9回】論文の作成(5)　原稿の執筆及び参考文献との関連付け(3)
【第10回】論文の作成(6)　原稿の執筆及び参考文献との関連付け(4)
【第11回】概要書の作成
【第12回】報告会用資料の作成
【第13回】報告会

＜事前学修＞
文献を収集して読み込み、その内容をまとめると共に、論文の原稿を書き進める。
＜事後学修＞
論文の原稿について教員からのフィードバックで指摘された箇所を修正する。
（事前学修・事後学修を合わせて各回3.5時間）

成績評価の方法	成果物の完成度(100%)
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	課題に対するフィードバックはTeams上のチャットで行う。
テキスト・教科書	特になし
参考文献	特になし